



イマジン
ロータリー

国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ

クラブ会報 なんと



NO. 2572

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 ☎ 53-1334

写真撮影
写真同好会
谷村修基会員



「JUNIOR OZON」イルミネーション

第2633回例会 令和4年10月18日(火)曇り13℃

- ◆点 鐘 12:30 古瀬喜八郎会長
- ◆司 会 谷村修基SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト 城端蒔絵 十六代 小原治五右衛門
- ◆会長の時間 古瀬喜八郎会長



クラブHPへ

先週はコロナ7波で300人~500人とても多かったのですが、昨日は90人となり。これでだんだん少なくなってほしいです。先週は、伏木勝興寺が国宝指定を受けて、大きな話題になっていましたので行ってみましたが参拝客が増えて駐車場も一杯でした。《今日の心がけ》 *決められたルールを守りましょう

◆我田引水

職場には、それぞれ決められた規則や、守らなければならない様々なルールがあり、働く人はそれに従って仕事を進めることが求められます。

このような当たり前のことであっても、中には自分勝手に、或いは自分に都合のいいように解釈して行動する人もいます。

職場の規律を乱す行為が周囲の人に波及し、不満が蓄積して、不協和音を生みだせば、職場環境の悪化を招くことにもなりかねません。

特に、慎重さや集中力が常に求められるような危険を伴う仕事を行なう人にとって、不満の蓄積やストレスの増大が、集中力の欠如を生み、思いもかけない重大な事故を引き起こすかもしれません。

自己中心的な行ないをするを「我田引水」とも言います。周囲への配慮に欠けた言動もそれに値します。

独りよがりな解釈などで、周囲を惑わすことのないよう決められた規則はしっかり守り、職場環境の保全に率先して取り組みたいものです。

◆幹事報告 石崎和三幹事

- ①10/18の日本経済新聞に世界ポリオデーの広告が掲載されます。
- ②ロータリー研究会実行委員長変更の案内受領。
- ③10/23(日)地区大会は16名の方の登録があります。送迎バスは 城端10:30→福光東口10:40→福野市民センター10:50発

④22-23年度インターアクト海外研修および負担額案内。

日時：2023年3月22(水)~28(火)の7日間
行先：オーストラリア
日程：小松→羽田→シドニー→セントハースト(ホームステイ) 学校訪問・交流→世界遺産ブルーマウンテンズ国立公園など観光→ホストファミリーと交流→フェアウエルパーティー→シドニーグループ自由行動→シドニー→羽田→小松空港
代金：334,400~397,450円(参加者数により)(別途PCR検査費用40,000)
負担：参加者・スポンサークラブ・地区が各3分の1ずつ負担する。参加者1名あたり、約111,500~132,000程度の負担額になります。

★ニコニコボックス 10/18 安居利浩副委員長

- 古瀬君 急に寒くなりました。皆様お身体気をつけて下さい。片山道代さん、卓話御世話宜しくお願いします。
- 石崎和君 地区大会参加、ありがとうございます。不参加の方もまだ受付いたします。卓話、片山道代さん、よろしくお願ひします。久しぶりに片山さんにお会いいたします。
- 片山道君 16代小原治五右衛門様、本日卓話お願いします。久しぶりの例会で、皆様お元気そうで何よりです。
- 木村君 梨が終えて、これから干柿の段取りとなります。梨は皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。
- 荒井君 小原治五右衛門様、お久しぶりでございます。卓話楽しみにしております。
- 尾山君 砺波ライオンズクラブ、南砺ロータリークラブ合同チャリティゴルフコンペ&懇親会、ご参加ありがとうございます。盛大に終える事ができました。
- 北島君 小原様をお迎えて
- 榊君 先週、ようやく稲刈りが終り、ひと段落です。城端蒔絵小原さん、卓話楽しみです。
- 古軸君 小原治五右衛門様をお迎えて。卓話楽しみです。
- 中田裕君 オミクロン対応ワクチン、インフルエンザワクチンが先週より同時には始まって忙しくなっています。小原様、卓話楽しみです。
- 井沢君 2週連続の無断欠席を詫びて。
- 山田清君 南砺市一周のサイクルイベント・ツール・ド・南砺2022。全国から206人の申し込みがありました。開催まで、あと5日、大忙しです。
- 野村君 小原さん、ようこそ。本日は宜しくお願いいたします。
- 安居君 最近、排水管の詰まりの修理が多いです。ラード詰まりが大半ですが、木の根が入り込んで悪さをするものもあります。1度自分で排水マスの点検を試みたら如何でしょう。
- 森雄君 早退します。

本日のプログラム 10月25日(火) 第2634回例会

卓話 (株)日本抵抗器製作所 代表取締役社長 木村 準氏
担当 森 悦夫会員

◆出席報告 木村伊徳副委員長

会員数	10月18日出席率	10月4日(未修正)
45 (免除2)	66. 67% (欠15)	72. 72% (欠12 メーク2)

メークアップ：古軸裕一君、森雄一君

次回の予定 11月1日(火) 第2635回例会

米山奨学生卓話
担当 尾山裕和米山奨学会委員長

四つのテスト
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



【城端蒔絵のはじまり】

小原家は、第五十九代「宇多天皇」の第八皇子「敦實親王」を祖とする近江源氏・佐々木氏の流れを汲む。文明7年(1475)、本願寺八世 蓮如が越前から加賀・越中へと赴く際に、近江源氏・佐々木高範(※たかのり)の裔で、越前朝倉義景の家臣であった佐々木入道祐玄(※にゅうどうゆうげん)が隨身して、砺波郡梅原村(南砺市梅原)に来て定住した。祐玄は文亀年間(1501-1504)に80余歳で没したが、その曾孫佐々木又兵衛之綱が天正元年(1573)、23歳のときに城端へ移住し、同3年(1575)に大工町で髹工(塗師屋)を家業として塗師屋又兵衛と名乗り、「城端塗」の基礎をきずいた。これが小原家における塗師としての元祖であり、城端漆工のはじまりでもある。

その頃、南朝の遺臣 畑六郎左衛門時能の裔で、佐々木氏とも一族である畑治五右衛門好永という漆工が城端近郊の大鋸屋村に住んでいた。好永は天正年間(1573-1592)に肥前長崎で唐人から「彩漆密陀絵法(※いろいろしみつだえほう)」を学び、城端に伝え「城端蒔絵」の基礎をきずいた。

好永はその技法を息子の二代 治五右衛門宜安に伝えた。しかし宜安は後に医師に転じたので、塗師屋又兵衛の孫の三代 徳左衛門信好に密陀絵法を伝授した。承応3年(1654)、信好37歳のときである。これより信好は、自家伝来の髹漆の技法に彩漆密陀絵法を加えてさらに研鑽を積み、白蒔絵の特色をつくって多くの作品を制作した。

加賀藩五代藩主 前田綱紀が、当時諸国名工の最高水準の技法を集めた「百工比照(※ひゃっこうひしょう)」という技術資料がある(東京駒場・前田育徳会蔵)。そのなかに、五十嵐道甫・椎原市太夫らとともに、治五右衛門の城端塗があげられていることは、当時の城端蒔絵の水準の高さを示すものである。これは信好の作品ではないかと推定されている。

信好の長男、四代 理右衛門亮好は従来の家名「佐々木」を廃して「小原」と改姓し、六代 治五右衛門忠好以降、代々「小原治五右衛門」を襲名している。



富山県指定文化財 「鯉に鶯草文手付盆」
城端蒔絵 九代小原治五右衛門雄蔵作

【城端蒔絵の特色】

城端蒔絵は「城端塗」または「治五右衛門塗」とも呼ばれ、美術工芸界に特異な存在として知られており、一般の蒔絵とは趣を異にする。

元来、漆で発色することのできるのは、朱・黒・黄・緑・茶の五彩に限られ、白を発色することは不可能とされていた。城端蒔絵はこの白色を表すことを特色とし、花鳥文様などを描いて生態そのままの色調ばかしを表現する彩漆蒔絵技術を一子相伝の秘法として今日まで伝えるものである。これには、初期の作品に多く見られる「密陀絵法」と、それを基にしてさらに工夫を加え創出された、中期以降の作品に多く見られる「白蒔絵法」とがある。

蒔絵とは本来、漆で文様を描きその上に金銀の粉を蒔き付ける技法であるが、加賀藩では加賀蒔絵保護のため藩外での金銀の使用を禁じた。豪華な加賀蒔絵に対して、城端蒔絵は白をはじめ各種の色彩を自由に駆使し、瀟洒で雅味のある独特の様式を案出したものである。

城端蒔絵は天平の密陀絵の再現にはじまり、それに基づき白蒔絵法を編み出し、各代の造形感覚により創意工夫を加え、小原家一子相伝として継承されてきた。明治維新の改変や戦後の変動期にも絶えることなく今日まで伝統のあかりを守っている。工芸の分野では極めて特異な例である。



【十六代 小原治五右衛門 プロフィール】

安土桃山時代・天正三年(1575)から一子相伝で継承する「城端蒔絵」の十六代目。代々「小原治五右衛門」の名を襲名し、天覧品や茶道具などを制作。日本、ニューヨーク、ワシントンD.C、インドネシア、香港など国内外での展覧会活動や、城端曳山祭で巡行する曳山・庵屋台などの文化財保存修復に従事。また、TEDxをはじめ国内外での講演やプレゼンテーションにも登壇する。令和元年(2019)「十六代 小原治五右衛門」を襲名。



(今回の会報担当：谷口和尋)